

平成17年度 試験研究(事前)評価整理表

整理表1

試験研究機関名 たばこ試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	実施期間		評価結果	コメント	外部評価アドバイザーのコメント	評価結果の反映状況(予算要求・手法・その他)
	施策目標	研究課題分類				始期	終期				
1	豊かで魅力ある農業の振興	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	大規模葉たばこ経営のための環境保全型栽培と乾燥システムの自動化		1.ハウス内の微気象を自然乾燥に近い状態で環境コントロールする機械乾燥制御技術を開発する。2.古来から行われてきたムギとの間作を新たな視点で見直し、雑草防除や土壌病害軽減のためのリピングマルチ技術を確立する。	18	22	B	県の園芸作物の振興上必要と考えられるため、研究計画どおりに実施すべきである。	地域特産物として重要な作目の振興に関わるものであり、重要であると考え、ただし金額が妥当であるか否かについては、にわかには判断できない。また一方で経営分析なども含む総合的研究であり、人員の点で懸念がないではない。来年度予定されている組織改編も踏まえ、研究計画のより一層の精緻化を望む。	・当初計画どおり予算要求を行い、研究目標の早期達成と技術移転に向け積極的に取り組む。 ・社会ニーズ(環境保全)と情勢対応(葉たばこ情勢の変化)に焦点を絞った総合研究を、人員と予算の範囲で効率的に実施し、地域特産物としての園芸振興に資する。